

第 6 1 回原子力委員会定例会議議事録（案）

1. 日 時 1997年9月9日（火）10：30～11：05

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員
資源エネルギー庁
小嶋統括安全審査官
（事務局等）伊藤原子力調査室長
池本専門委員
坪井核融合開発室長
原子力発電安全企画審査課 結城、石渡
原子力調査室 杉本、新井、宇賀地

4. 議 題

- （1）東北電力株式会社東通原子力発電所の原子炉の設置について（諮問）
- （2）第125回核融合会議の結果について
- （3）その他

5. 配布資料

- 資料1 第60回原子力委員会臨時会議議事録（案）
- 資料2-1 東北電力株式会社東通原子力発電所の原子炉の設置について（諮問）
- 資料2-2 東北電力株式会社東通原子力発電所原子炉設置許可申請の概要について
- 資料3 第125回核融合会議の結果について

6. 審議事項

（1）議事録の確認

事務局作成の資料1第60回原子力委員会臨時会議議事録（案）が了承された。

（2）東北電力株式会社東通原子力発電所の原子炉の設置について（諮問）

平成9年9月5日付け8資庁第9793号をもって通商産業大臣から諮問を受けた標記の件について、通商産業省より資料2-1及び資料2-2に基づき説明があった。

これに対し、委員より

- ・新規立地なので、特に地域との共生を大切に進めてほしい
- 等の意見があり、引き続き審議することとした。

注）本件は、東北電力株式会社が青森県下北郡東通村に、熱出力 3,293MWの原子炉を設置するものであり、平成10年12月着工、平成17年7月運転開始の計画で建設することとしている。

（3）第125回核融合会議の結果について

標記の件について、事務局より資料3に基づき、会議の概要等について報告があった。

これに対し、委員より

- ・ITER計画をめぐる国内外の状況は変わってきており、様々な状況に対応しうるよう注意していくべき。3年間の延期期間を有効に使っていくことが大切
- ・ハード面やマンパワーの面における四極の国情の違いに配慮して進めるべき
- ・核融合の分野については、他の科学技術分野に比べてサイエンスとエンジニアリングの開きが大きい。日本全体として大学や他の研究機関との連携がさらに重要になる

等の意見があった。